



立体駐輪場の建設について

理事長 田村 正昭



薬学6年制教育導入に伴う学生数の増加に対応して、自転車の駐輪スペースを確保すると共に、学生の皆さんからの「屋根付きの駐輪場が欲しい」との要望に応えるべく、現在「立体駐輪場（2階建）」を臨床薬学教育研究センター東側のスペースに建設中です。

立体駐輪場は床面積1,379.40㎡（1階：713.70㎡・2階：665.70㎡）で、1階に432台、2階に256台の計688台の自転車を駐輪することが可能です。1階の駐輪スペースには一部スライド式サイクルラックが設置されており、両隣の自転車を左右に動かすことが

できるので、自転車の出し入れが容易になります。

また、駐輪場の管理については、駐輪場内での事故防止及び整列駐輪を守るために、1階を4ブース、2階を2ブースに分け、1階は1年次生から4年次生、2階は5・6年次生・大学院生及び職員の駐輪スペースとします。なお、収容台数に限りがありますので、本年4月から登録許可制とし、近隣からの利用は制限しています。

来年度には駐輪場の屋根に太陽光発電用ソーラーパネルを設け、駐輪場内はソーラーパネルで発電された電気に対応する予定です。また余った電気は本

CONTENTS

立体駐輪場の建設について	1～2
2010年度大学説明会の地方開催について	2
特集 第I期 病院・薬局実務実習	3～5
第2回学生満足度調査 集計結果報告	6～8
2010年度 6月、8月のオープンキャンパス開催	9
2010年度 6月、8月のオープンキャンパス参加人数	10
2010年度(秋季入学)及び2011年度 大学院入学選考結果	11

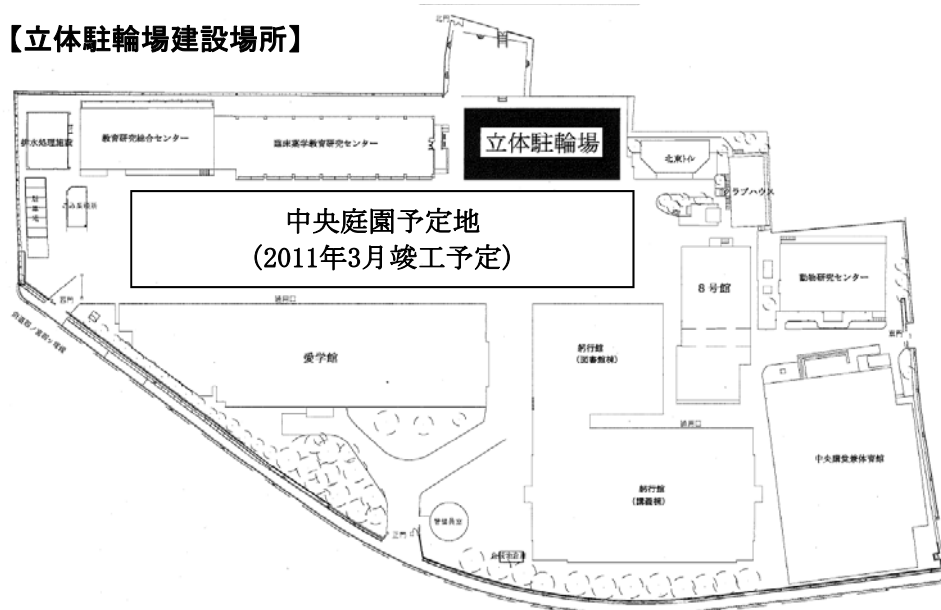
卒業生からのメッセージ	11
受賞	12
国際薬理学会 ～世界一幸せな国で～	13
Library News	14
お知らせ	15
京薬会だより	15
京都薬科大学奨学寄附金ご芳名録	16

校地内で使用するなどエコを意識し、環境に配慮した施設整備を行ってまいります。

立体駐輪場は本年11月竣工予定です。立体駐輪場完成後は、現在の仮駐輪場跡地に中央庭園整備工事が、

来年3月の竣工を目指して始まります。まだ、しばらくの間、工事の騒音等でご迷惑をお掛けすることになりますが、ご理解とご協力をお願い致します。

【立体駐輪場建設場所】



2010年度大学説明会の地方開催について

地方での本学志望者の獲得を目的に、2010年度大学説明会の地方開催を、8月21日（土）広島会場（代々木ゼミナール広島校本館）、8月22日（日）岡山会場（代々木ゼミナール岡山校）、8月28日（土）愛知会場（代々木ゼミナール名古屋校本館）、8月29日（日）三重会場（三重県教育文化会館）の4会場で行いました。大学説明会の内容（時間）は、受付（13:10～16:30）、大学紹介（13:30～14:10）、ミニ講義（14:20～14:50）、相談会（15:00～16:30）で、

乾学長をはじめ本学職員が担当しました。

地方での大学説明会の開催は、今回が初めての試みであり、受験生、付添者、高等学校の進路指導担当教員などの参加者がありました。開催地在住の方以外に、遠方からも数名の参加者がありました。また、本学の2010年度夏のオープンキャンパスに参加し、さらに今回の大学説明会に参加された親子もおられ、本学に対する関心の高さがうかがえました。

日程	開催地	高校1年生	高校2年生	高校3年生	既卒生	その他	付添者	合計
8月21日(土)	広島県	1名	0名	2名	1名	0名	9名	13名
8月22日(日)	岡山県	0名	0名	5名	1名	(※)1名	6名	13名
8月28日(土)	愛知県	0名	0名	2名	0名	0名	3名	5名
8月29日(日)	三重県	0名	0名	8名	0名	0名	6名	14名
合計		1名	0名	17名	2名	1名	24名	45名

(※)高校教員

広島会場ー福岡県、山口県より参加者あり／岡山会場ー香川県、島根県より参加者あり



特集

第Ⅰ期 病院・薬局実務実習

KPU_{NEWS} No. 161号の中に「はじめての薬学共用試験を終えて」という特集記事があったことを、学生諸君は覚えているはずです。その4年次の「薬学共用試験」に合格して、5年次に初めて体験することが出来るのが「病院・薬局実務実習」です。この「実務実習」は、病院や薬局という医療の現場に身を置き指導薬剤師の下で実際に具体的な仕事を、模擬空間ではなくまさに現実空間において学習することなのです。約2ヵ月半続く「実務実習」は第Ⅰ期、第Ⅱ期、第Ⅲ期と分かれています。その第Ⅰ期実務実習を終えた4名の学生諸君が「病院実務実習」と「薬局実務実習」での緊張に満ちた貴重な体験をここで語っています。

「薬学共用試験」を間近にした4年次生はもとより3年次生以下の諸君も、医療人としての薬剤師の感性と薬剤師として生きる自覚を育むために、先輩たちの語る内容をしっかりと読み取って下さい。

第Ⅰ期 病院・薬局実務実習を終了して 臨床薬学教育研究センター 教授 高山 明

5年次生を対象とした病院・薬局の実務実習第Ⅰ期（5月17日～7月30日）は大きなトラブルもなく無事終了しました。学生を快く受入れていただきました施設長ならびに指導薬剤師の先生方をはじめ、病院薬剤師会、薬剤師会、調整機構、京都薬科大学職員、その他関係各位に深謝いたします。

社会から求められている「質の高い薬剤師」を養成するには、大学での教育と医療現場における実務体験が必要不可欠なものとなります。学生は今回の実務実習を通じて、医薬品に関する自分の知識不足を認識し、患者さんとのコミュニケーションの取り方に戸惑い、チーム医療や在宅医療に参加することで、薬剤師の職能のすばらしさに気づき、更には薬剤師としての使命感や倫理観、あるいは生命の尊厳といった大学の教育だけでは身近なものとして捉えにくい項目も、自らの感性で受け止められるまでに成長しました。私が実務実習に期待していることは「医療人としての感性」を育成することです。学生の感想を聞いて、第Ⅰ期実務実習ではその成果が得られたものと考えます。KPU_{NEWS}に掲載された4名の感想は特別なものでなく、第Ⅰ期実習を終了した多くの学生が同様の意見を述べています。

一方、問題点も明らかになりました。受入施設から実務実習記録に関する質問や評価方法に対する問い合わせが多数ありました。形成的評価方法については今後、薬剤師会や病院薬剤師会と協議していく必要があると思っています。その他、現場の実情に合したSB0s（到達目標）の見直しや受入施設と学生とのマッチングに関すること、「ふるさと実習」の推進、薬剤師卒後教育の確立、施設間格差の是正、実習内容の更なる充実に向けての取り組みなどが問題点として提起されました。学生が満足し、勉学へ

のモチベーションが高まる実習を行うため、実習内容の整備をしていかなければならないと考えます。

最後になりましたが、第Ⅰ期実習において訪問指導をしていただきました先生方にお礼申し上げます。実務実習はこれからも続きますので、第Ⅱ期、第Ⅲ期、来年度、再来年度の訪問指導も宜しくお願い申しあげます。また「ふるさと実習」を推進するにあたり、各地区に訪問指導専任の特命教授を配置していただきました大学当局に感謝いたします。

病院実務実習を終えて

5年次生 由田 康祐

私は社会福祉法人京都社会事業財団西陣病院で実習を行いました。西陣病院では実習記録とは別にweekly summaryがあり、日々の実習内容や実習中に分からなかったことを記入した後、指導薬剤師の先生とディスカッションを行いました。

午前は薬剤師の基本業務である調剤業務、医薬品の検品・納品業務を繰り返し行いました。OSCE（薬学共用試験）で一通りの手順を修得していたこともあり、比較的すんなりと業務を行うことが出来ました。実際の患者さんに投薬されることから、特に高カロリー輸液の混合操作や抗悪性腫瘍剤の調製は緊張感を伴うものでした。調剤業務ではOSCEで習った3度の指差し確認を行い、調剤ミスの無いよう心がけて業務を行いました。

午後は病棟で薬剤指導業務を行いました。1、2週目の見学を経て、3週目より実際に白内障オペや糖尿病教育入院など様々な患者さんの指導を行いました。個々の患者さんの初回面談から退院指導まですべてを担当することで、患者さんにおける問題点の把握・検討を経て次の指導に活かすという経験が出来ました。患者さんとの会話やカルテの診療記録、看護記録などから患者さんの服薬状況や治療状況の把握など貴重な経験ができ、患者さんが笑顔で

退院された時には非常に嬉しく思いました。また、NST（栄養サポートチーム）などチーム医療の中で活躍する薬剤師の姿や、医師や看護師から薬剤に関する質問を多数受ける薬剤師の姿を見て、薬のスペシャリストとしての薬剤師の存在意義を実感しました。

その他、透析教室や糖尿病教室、企業による勉強会、他病院と合同の症例検討会などに参加し、いろいろな知識を深めることが出来ました。

実習終盤には、症例報告発表会、高齢者の薬剤適正使用に関する研究および発表、DI（医薬品情報）ニュースの発行なども経験しました。

西陣病院の先生方は日々の研鑽を怠らず、患者さんや他の医療スタッフに対して、薬剤学的管理を行うことにより、チーム医療における薬剤師としての責務を果たしておられました。このような環境における2ヶ月半の実習は今後の私にとって非常に大きな財産になると確信しています。実習を受入れていただきました三宅健文先生はじめ西陣病院薬剤部の先生方に深謝いたします。

病院実務実習を終えて

5年次生 花崎 陽子

4月から約2ヶ月半にわたって独立行政法人国立病院機構大阪医療センター薬剤科で実務実習を行いました。

実習期間中、午前は一貫して調剤を行いました。実在の患者さんの処方せんは緊張感を伴い、大規模病院で調剤する量・種類・ハイリスク薬の多さに圧倒されました。

午後は、業務やDI、安全管理に関する講義を受けました。大学の講義では業務内容を具体的に捉えにくかったのですが、ジェネリック薬品への入れ替え作業が開始された時期でもあり、薬剤師一人ひとりにコストパフォーマンスに関する意識と、高いリスクマネジメントの能力が要求されることを肌で感じとれたように思います。

終盤1ヶ月間は、外科病棟でがん患者さんの持参薬確認や手術前後の服薬指導を見学・体験しました。手術中心の外科では扱う薬剤の種類が限られており、薬剤師の出番は少ないと思っていましたが、実際は緩和ケア・抗がん治療などにおいて、副作用モニタリングや化学療法レジメンの管理を通してチーム医療の中で薬剤師が専門性を発揮していることが理解できました。また多くの患者さんが高齢にも関わらず抗がん治療やオピオイドについて深く理解していることが印象的でした。これは服薬指導の積み重ねの成果だと思いますが、個々の患者さんの理解度やニーズを把握したうえで、患者さんが主体性を持って積極的に治療に参加出来るような服薬指導を

行うことが重要だと実感しました。

疼痛コントロールは漫然と行なわれるのではなく、非常に早いサイクルでオピオイドローテーションが実施されることを知り、緩和ケアに対するイメージが変化しました。そうした積極的ケアに取り組む薬剤師は、幅広い視点から薬学的問題点をくみ取り、解決する方策を電子カルテやカンファレンスを通して即座にチーム医療に提案していくものでした。病棟実習では、薬剤師も能動的に治療に参加していくという姿勢と知識が要求されることを教えていただいたと思います。

またHIV感染症治療や災害医療、緩和ケア、NST、治験など拠点病院としての取り組みについて学べたことは、薬剤師が専門性を持つことの意義をあらためて考えさせられる他では得がたい経験でした。

指導薬剤師の先生方がお忙しい中惜しみなく時間を割いてご指導くださったことに深く感謝し、教えて頂いたことの数々を心に留めて勉強を続けていきたいと思います。

薬局実務実習を終えて

5年次生 笠井 理弘

はじめは長いと思った11週間の薬局実務実習も、振り返ってみると、とても充実した11週間を送ることができました。実習期間中いろいろなことを学びましたが、なかでも特に印象に残っていることは調剤過誤防止対策と、実務実習への対応です。

調剤過誤は人の命や生活に関わってきますので、リジョイス薬局島原店では調剤過誤を防止するためにすごく力を入れていました。インシデント報告書の記入やPDAを用いた調剤・医薬品の補充、ミーティングではインシデント事例を用いた対処法の検討など様々な取組みがされていました。PDAとは携帯型の小型電子機器で、バーコードを読み取る機能が付いています。薬袋に印刷されたバーコードを読み取ると、調剤すべき医薬品がPDAの画面に表示されます。一方、調剤を行う際には、医薬品を入れてある容器の裏のバーコードを読み取り、目的の医薬品かどうかを確認してから医薬品を取り出します。このシステムを利用することで、よくある規格違いによる過誤や、名称類似品による過誤は起こらないようになっていました。また、調剤を終えた後には調剤者がもう一度医薬品の間違いや数量の間違いを確認してから、最終鑑査に回すようにしていました。医薬品を補充する時も過誤を防止する目的でPDAを用いていました。

次に実習の対応についてももしっかり対処してもらったと思います。指導薬剤師の方は、実習が始まる前に合同説明会等に積極的に参加していただいていたようです。初めての実務実習でわからないこと

だらけの私もスムーズに実習を行うことができました。また、昔から人見知りしてしまう性格の私ですが、薬局の方々から親切に接していただき、すぐに薬局に馴染むことができて楽しく実習を行うことができました。リジョイス薬局はチェーン店であったため、会社としての実習スタッフマニュアルや、疑義照会、処方解析、一般用医薬品の例題集が準備されていました。また実習が困難な課題についてはDVD学習や、他店への見学、医薬品卸への合同見学会への参加など様々な工夫をしていただきました。

長いようで短い11週間の実務実習でしたが、本当にたくさんの良い経験をすることができました。また、実際に薬剤師として働く様子を目にすることができ、今後自分の進路を決定していくうえで大きな指標になりました。今後はこの経験を活かして病院実務実習を行い、薬剤師として社会に貢献することの意義を考えていきたいと思います。

薬局実務実習を終えて

5年次生 前田 美佳

私はセガミ薬局壬生店で実習をさせていただきました。薬局実習では自分の薬学的知識とコミュニケーション能力の未熟さを痛感致しました。患者様の処方せんから処方意図を考え、積極的に会話することで情報をうまく引き出したり伝えたりすることが必要な中、個々の患者様に合わせた臨機応変な判断と対応に戸惑いました。知識と技術の必要性はもとより、現場での注意力や判断力の重要性を肌で感じました。

また、薬局の先輩方の姿からたくさんのことを学

び、私も患者様から信頼される薬剤師になるべく頑張っていこうという気持ちが高まりました。実際に、患者様から「ありがとう」とおっしゃっていただいた時は何よりも嬉しく、薬剤師のやりがいを感じました。

薬局の業務だけでなく、有意義な体験として課外研修もたくさんありました。街頭での啓発活動として薬物乱用防止キャンペーンに参加したこと、医薬品の卸売企業にて施設見学・医薬品の流通機構業務などを体験したこと、在宅医療や特別養護老人ホームの見学実習に参加するといったことが挙げられます。

その中でも特に、特別養護老人ホームの見学はとても印象深く、介護施設においても薬剤師がより積極的に薬物治療に介入していく必要性を実感しました。薬剤師が入居者のそばにおもむくことで、処方意図や服薬上の問題点を知ることができ、入居者の状態変化や処方変更にも速やかに対応できるのではないかと思います。さらに、施設側からは薬剤師の介入によって、入居者に服薬指導を行うことで治療への積極性の向上を図ること、また入居者だけでなく看護師や介護ヘルパーといった医療従事者の服薬に関する疑問や負担を軽減させ、信頼関係を構築することが求められているのだと気付きました。薬剤師の役割が多岐にわたり、それが現場で求められていると感じました。

大学で学んだことをベースに薬局実習の現場で学ぶことは、相乗効果としての様々な気づきがあります。次はこれらの気づきをさらに新しい経験のための布石とし、さらに視野を広げ学んでいきたいと思っています。

クラブだより

バスケットボール部

バスケットボール部の昨年度活動実績です。

- 3月 関西薬学生大会
男子：2回戦敗退 女子：1回戦敗退
- 6月 石神杯(女子のみ)
女子：ベスト8
- 8月 全国薬学生大会
男子：ベスト16 女子：ベスト8
- 10月 フレンドスカップ(女子のみ)
女子：1回戦敗退
- 11月 医歯薬大会
男子：1回戦敗退 女子：2回戦敗退

来年度も同じ予定です。

京都薬科大学「京薬論集刊行会」主催 第8回文化講演会のお知らせ

日 時：10月31日(日) 14:00～16:00
会 場：京都薬科大学 躬行館2階 Q21講義室

講演者：抱 喜久雄氏
(京都薬科大学 一般教育分野教授)
演 題：「生殖補助医療を考える」

講演者：宮本 茂敏氏
(アリスコーポレーション取締役社長)
演 題：「あなたの元気を守るサプリメント」

今年で8回目の講演会となります。聴講無料です。是非、ご来場ください。当日は「京薬祭」も開催中ですので、あわせてお楽しみください。

第2回学生満足度調査 集計結果報告

学生満足度調査プロジェクトチーム

本学では2009年度に引き続き、2年次生から5年次生までを対象とした「学生満足度調査」を実施いたしました。2010年度の調査では645名の学生の皆さんに調査にご協力いただきました。勉強やクラブ活動が忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

学生の皆さんから寄せられた声は本学の全職員で共有し、今後の教育・研究の改善に役立てていきたいと考えています。今後も皆さんの声をお寄せ下さい。

なお、全学的な取組として改善が必要な項目につきましては、責任者を決めて改善に取り組みます。改善結果については追って報告いたします。

1. 学生満足度調査の実施概要について

(1) 実施対象について

薬学部2年次生～5年次生が対象

(2) 記名・無記名について

無記名方式

(3) アンケート配付期間について

2010年5月17日（月）～19日（水）

※5年次生は学外実務実習のため事前に

各分野にアンケート用紙を配付

(4) アンケート回収期間について

2010年5月21日（金）まで

(5) 回収数

645部

2. 学生満足度調査結果

(1) はじめに

① 性別

No	回答	回答数	構成比	2009年度
(1)	男性	173	26.8%	181
(2)	女性	466	72.2%	471
	無回答	6	0.9%	1
	計	645	100.0%	653

② 学年

No	回答	回答数	構成比	2009年度
(1)	2年次	243	37.7%	247
(2)	3年次	145	22.5%	218
(3)	4年次	133	20.6%	187
(3)	5年次	119	18.4%	0
	無回答	5	0.8%	1
	計	645	100.0%	653

③ 通学形態

No	回答	回答数	構成比	2009年度
(1)	自宅通学	412	63.9%	367
(2)	自宅外通学（下宿）	228	35.3%	284
	無回答	5	0.8%	2
	計	645	100.0%	653

④ 通学手段

No	回答	回答数	構成比	2009年度
(1)	電車通学	415	64.3%	372
(2)	自転車通学	115	17.8%	178
(3)	バイク通学	3	0.5%	2
(4)	徒歩	106	16.4%	98
(5)	その他	1	0.2%	0
	無回答	5	0.8%	3
	計	645	100.0%	653

(2) 京都薬科大学の魅力について

No	回答	回答数	構成比	2009年度
(1)	伝統があり、多くの卒業生を輩出している	370	25.3%	371
(2)	学力水準が高く、知名度が高い	249	17.0%	321
(3)	高い研究力	84	5.7%	154
(4)	最先端の薬学教育を受けることができる	51	3.5%	77
(5)	施設や設備が充実している	131	9.0%	110
(6)	高い就職率	119	8.1%	119
(7)	立地条件が良い	223	15.2%	186
(8)	京都の街	195	13.3%	228
(9)	その他（下記自由記述欄に記入して下さい）	15	1.0%	16
	無回答	26	1.8%	21
	計	1463	100.0%	1603



(3) 教育・研究について

No	質問内容	4. とても 当てはまる	3. まあ 当てはまる	2. あまり 当てはまらない	1. 当て はまらない	無回答	計	2010年度 平均点	2009年度 平均点
Q7-1	シラバスには必要な情報が十分盛り込まれている	63	476	81	16	9	645	2.9	3.1
Q7-2	1コマ90分の授業は長すぎる	55	224	253	106	7	645	2.4	2.4
Q7-3	教養科目(人と文化)は充実している	31	320	199	85	10	645	2.5	2.6
Q7-4	基礎演習では、少人数制の良さが感じられた	143	391	76	26	9	645	3.0	3.1
Q7-5	早期体験学習のプログラムは充実している	82	409	113	33	8	645	2.8	2.9
Q7-6	1年次の補講(物理学、生物学、数学)は充実している	63	395	131	46	10	645	2.7	2.8
Q7-7	外国語教育は充実している	28	264	241	105	7	645	2.3	2.5
Q7-8	進級条件は理解できている	153	398	64	20	10	645	3.1	3.1
Q7-9	授業に関すること、呼び出し等、必要な情報の提供を問題なく受けている	98	407	101	30	9	645	2.9	2.9
Q7-10	専門科目には満足している	18	183	35	12	4	252	2.8	2.8
Q7-11	専門科目実習には満足している	18	179	42	9	4	252	2.8	2.8
Q7-12	総合薬学研究・演習の分野配属の方法は適当である	27	139	55	27	4	252	2.7	2.6
Q7-13	総合薬学研究・演習を通して専門性を深められていると感じる	52	151	33	12	4	252	3.0	3.0
Q7-14	総合薬学研究・演習の定員は適切である	29	128	57	34	4	252	2.6	2.6
Q7-15	研究室では安心して実験・実習に取り組める環境が整備されている	39	149	39	20	5	252	2.8	3.0
Q7-16	病院・薬局実習の実習先配属の決定は希望通りであった	33	70	37	27	85	252	2.7	-

(4) 学生サポートについて

No	質問内容	4. とても 当てはまる	3. まあ 当てはまる	2. あまり 当てはまらない	1. 当て はまらない	無回答	計	2010年度 平均点	2009年度 平均点
Q9-1	学生に対する各窓口での対応は親切・丁寧に行われている	207	379	37	14	8	645	3.2	3.3
Q9-2	クラブ活動に対して十分な資金援助が行われている	48	377	129	44	47	645	2.7	2.7
Q9-3	クラブ活動を行うのに十分な設備が整っている	43	341	150	71	40	645	2.6	2.6
Q9-4	奨学金制度は充実している	52	408	103	48	34	645	2.8	2.9
Q9-5	困ったとき、悩んだときは学生相談員に相談したい	40	257	209	129	10	645	2.3	2.5
Q9-6	困ったとき、悩んだときは精神科医・臨床心理士に相談したい	36	251	215	128	15	645	2.3	2.3
Q9-7	各種証明書の発行日数には満足している	63	393	107	57	25	645	2.7	2.8
Q9-8	下宿先の紹介制度が充実している	21	346	143	53	82	645	2.6	2.6

(5) 施設・設備について

No	質問内容	4. とても 当てはまる	3. まあ 当てはまる	2. あまり 当てはまらない	1. 当て はまらない	無回答	計	2010年度 平均点	2009年度 平均点
Q11-1-A	施設・設備が充実している 講義室(プロジェクター、スクリーン、モニター等 含む)	159	361	82	31	12	645	3.0	3.0
Q11-1-B	施設・設備が充実している 実習室(プロジェクター、スクリーン、モニター等 含む)	150	422	53	9	11	645	3.1	3.2
Q11-1-C	施設・設備が充実している 自習室	121	368	101	42	13	645	2.9	2.7
Q11-1-D	施設・設備が充実している 駐輪場	53	335	132	89	36	645	2.6	2.9
Q11-1-E	施設・設備が充実している ロッカー室	44	326	171	86	18	645	2.5	2.6
Q11-1-F	施設・設備が充実している 掲示板	71	384	121	59	10	645	2.7	2.9
Q11-1-G	施設・設備が充実している 情報設備(パソコン、インターネット)	154	405	57	18	11	645	3.1	3.2
Q11-2	食堂施設が充実している(メニュー、値段、自動販売機 含む)	35	178	257	161	8	639	2.1	2.2
Q11-3	図書館施設が充実している(蔵書数、カウンターサービスも含む)	153	378	72	24	18	645	3.1	2.7
Q11-4	文具・書籍売場が充実している(品揃え、価格含む)	82	369	142	38	14	645	2.8	2.8
Q11-5	憩いのスペースが充実している	46	285	205	86	23	645	2.5	2.5
Q11-6-A	安全・衛生管理が行き届いている セキュリティ	123	445	48	15	14	645	3.1	3.0
Q11-6-B	安全・衛生管理が行き届いている 構内の交通安全	104	459	54	14	14	645	3.0	3.0
Q11-6-C	安全・衛生管理が行き届いている 清掃	210	393	23	5	14	645	3.3	3.3

(6)進路支援体制について

No	質問内容	4.とても当てはまる	3.まあ当てはまる	2.あまり当てはまらない	1.当てはまらない	無回答	計	2010年度平均点	2009年度平均点
Q13-1	進路支援課へ進路に関する相談や質問をしたことがある	15	88	155	376	11	645	1.6	1.6
Q13-2	進路支援課隣接の資料室を利用したことがある	12	116	134	371	12	645	1.6	1.6
Q13-3	「早期体験学習」・「薬学への招待」は、進路を考えるうえで参考になった	41	306	182	102	14	645	2.5	2.6
Q13-4	進路ガイダンスの内容はわかりやすい	18	258	80	31	10	397	2.7	2.8
Q13-5	進路ガイダンスの実施時期・回数は適当である	16	236	104	29	12	397	2.6	2.7
Q13-6	2年次のガイダンス「職種説明」は、進路を考えるうえで参考になった	26	218	98	41	14	397	2.6	2.7
Q13-7	3年次のガイダンスは、進路を考えるうえで参考になった	24	123	74	24	7	252	2.6	2.8
Q13-8	4年次のガイダンス「職種説明会」は、進路を考えるうえで参考になった	14	67	25	11	2	119	2.7	-
Q13-9-1	相談後に問題は解決した。参考になった	7	51	11	3	31	103	2.9	3.0
Q13-9-2	回答内容はわかりやすかった	8	54	7	3	31	103	2.9	3.0

(7)総合評価（10点満点）

No	回答	回答数	構成比	2009年度
(1)	1.まったく満足していない	6	0.9%	6
(2)	2	21	2.8%	18
(3)	3	32	4.7%	31
(4)	4	39	6.1%	40
(5)	5.どちらとも言えない	80	13.2%	86
(6)	6	112	19.1%	125
(7)	7	176	24.3%	159
(8)	8	128	20.4%	133
(9)	9	25	4.3%	28
(10)	10.非常に満足している	5	1.5%	10
	無回答	21	2.6%	17
	計	645	100.0%	653

平均点 : 6.3

※2009年度調査時の平均点は6.4点

2009年度の学生満足度調査結果を受けて実施した改善例

①WEB掲示板を新設し既存掲示板の情報を整理

2009年の調査で学生の皆さんから特に多くの改善希望があったのが、愛学館1階に設置された掲示板の情報伝達の見直しです。「学外からでも情報を見たい」、「掲示板が整理されていないため見辛い」といった声が多く見受けられました。学生の皆さんの利便性を確保し、より分かりやすい情報提供を実現させるために、次の改善を実施しました。

- 改善1 : 大学HPにWEB掲示板を新設
- 改善2 : 携帯HPに掲示板を新設
- 改善3 : 掲示板の掲示方法を見直し、新着情報をわかりやすく配置

②食堂の座席数・メニュー・混雑の改善

特に意見が多かったのが「食堂の座席数が足りない」といった食堂の座席数に対する意見です。昼食時の混雑を可能な限り緩和するため、躬行館の食堂は可能な限り座席を多く配置し、384席の座席を確保しました。また、混雑解消のためセットメニューのみの販売とし、より多くの学生の皆さんが利用できるよう配慮しています。また、女子学生の皆さんから要望が多かったヘルシーなメニュー、女性向けのメニューについては、躬行館食堂にヘルシーランチとレディースランチを提供することで改善を図っています。

③奨学金（給付型・減免型）の充実

学生の皆さんからの「奨学金制度を充実して欲しい!」という声を受け、京都薬科大学奨学金に新たに授業料減免型と給付型の奨学金を新設しました。授業料減免型の奨学金は、経済的な事情から修学が困難となった学生に対する緊急支援として半期授業料の減免を行います。また、給付型奨学金は優秀な人材の育成、成績向上並びに活力の醸成を図るために成績優秀者に支給します。詳細は大学ホームページおよび学内掲示板（奨学金）をご確認下さい。

その他にも以下の改善を行っています。

- 女子ロッカー室を改修し、明るく清潔に
- 愛学館2階自習室の改善
- 躬行館食堂スペースを憩いのスペースに活用
- コンビニエンスストアを設置

2010年学生満足度調査で学生の皆さんから寄せられた改善要望についても、可能な限り改善に取り組みたいと思います。今後とも学生満足度調査にご協力いただき、学生の皆さんの率直な意見をお寄せ下さい!

2010年度 6月、8月のオープンキャンパス開催

入試課

1. 6月のオープンキャンパス

6月13日（日）にオープンキャンパスを開催しました。

開催途中であいにくの空模様となりましたが、前年を上回る198名の参加者がありました。今回から2月に完成した躬行館の講義室を会場とし、「学長挨拶」、「大学紹介」、「在学生の話」、「卒業生の話」の後、「施設見学」、「相談会」を実施しました。

「学長挨拶」では、本年4月に本学学長に就任された乾学長から「輝ける薬学の未来に向けて」というテーマでお話いただきました。「大学紹介」では、安井入試広報委員長から、動画を交えてわかりやすく本学の説明が行われました。

「在学生の話」では、4年次生永野唯さんに大学生活全般の話をしていただきました。「卒業生の話」では、三重大大学医学部附属病院に勤務されている岡本明大先生をお招きして、本学で学んだことが社会に出てどう活かされているか等について話をしていただきました。「在学生の話」、「卒業生の話」とともにたいへん好評でした。

「施設見学」では、薬品分析学分野、薬品物理化学分野、病態生化学分野、薬理学分野、薬剤学分野、Q35実習室、図書館、臨床薬学教育研究センターの見学を

行いました。躬行館3階セミナー室で実施した「相談会」には、78名の参加者があり、入学試験や学生生活、就職などの相談がありました。

2. 8月のオープンキャンパス

8月7日（土）・8日（日）の2日間、オープンキャンパスを開催しました。

両日とも猛暑となりましたが、前年を上回る1,057名の参加者がありました。躬行館講義室での「学長挨拶」、「大学紹介」、「ミニ講義」の後、「体験実習」、「施設見学」、「相談会」を実施しました。

参加者からは、大学紹介について「わかりやすかった」、「知りたいことがわかった」、ミニ講義については、「わかりやすくて面白かった」、「興味深かった」などの声がたくさんありました。また、施設見学については、「きれいだった」、「設備が充実していた」、体験実習については、「楽しかった」、「面白かった」などの声が多く聞かれました。

相談会は、参加者の利便性を考慮し、躬行館1階セミナー室で実施しました。両日合計198名の参加があり、教育職員、事務職員、在学生が相談に応じました。参加者からは、「疑問が解決できた」、「詳しく話が聞けた」などの感想をいただきました。

ミニ講義

- | | |
|--------------|---|
| 8月7日（土）午前・午後 | 中村暢彦 講師（臨床薬学教育研究センター）
「プロフェッショナル 仕事の流儀ーがん専門薬剤師ー」 |
| 8月8日（日）午前・午後 | 山岸伸行 准教授（生命薬科学系生化学分野）
「タンパク質の一生」 |



体験実習

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. シップ薬はどんなにおいだったっけ！ーつくってみようシップ薬ー | （創薬科学系薬品製造学分野） |
| 2. 光るナノ粒子の細胞中での動きを追跡する | （分析薬科学系薬品物理化学分野） |
| 3. 今日の温度は快適？不快？測ってみよう、感覚温度！ | （生命薬科学系公衆衛生学分野） |
| 4. 身近な細菌に色を付けて観てみよう | （生命薬科学系微生物・感染制御学分野） |
| 5. 切っても切ってもプラナリア | （生命薬科学系病態生理学分野） |
| 6. 腸管に作用する薬物を知ろう | （病態薬科学系薬理学分野） |

施設見学

希望者がグループにわかれて、臨床薬学教育研究センターや研究室、実習室を見学しました。



相談会

教育職員、事務職員、在学生が参加者の相談に応じました。

関係者の皆様には、ご多忙中、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。今後も、より一層充実したオープンキャンパスにしたいと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

2010年度 6月、8月のオープンキャンパス参加人数

6月のオープンキャンパス

	受験生	付添者	合計
6月13日（日）	128名	70名	198名
昨年度	118名	72名	190名

8月のオープンキャンパス

	受験生	付添者	合計	昨年度
8月7日（土）午前	217名	120名	337名	309名
午後	79名	51名	130名	189名
小計	296名	171名	467名	498名
8月8日（日）午前	253名	138名	391名	341名
午後	125名	74名	199名	171名
小計	378名	212名	590名	512名
合計	674名	383名	1,057名	1,010名
昨年度	715名	295名	1,010名	

2010年度 8月のオープンキャンパスアンケート集計結果（受験生・高校生）

Q1 オープンキャンパスを何で知りましたか？（複数回答）

No.	回答	件数	(全体)%
1	本学のホームページ	231	57.2
2	高校の進路指導または資料	92	22.8
3	オープンキャンパスのチラシ・DM	82	20.3
4	家族または親戚	47	11.6
5	先輩・友人・知人	46	11.4
6	予備校	7	1.7
7	受験雑誌など	4	1.0
8	新聞	3	0.7
9	その他	6	1.5
10	無回答	2	0.5

Q2 参加された目的や動機は何ですか？（複数回答）

No.	回答	件数	(全体)%
1	キャンパスなど施設・設備の確認	299	74.0
2	実験・研究などの施設・設備の確認	197	48.8
3	入試情報の確認	190	47.0
4	キャンパス周辺の街並みや環境の確認	135	33.4
5	授業内容の確認	96	23.8
6	研究内容の確認	79	19.6
7	大学の教育理念・方針、将来構想の確認	77	19.1
8	薬剤師国家試験対策についての確認	67	16.6
9	就職状況や進路指導の確認	62	15.3
10	薬学6年制の確認	48	11.9
11	クラブ・サークル活動などの確認	44	10.9
12	学費・奨学金・アルバイトなどの確認	40	9.9
13	病院・保険薬局実務実習の確認	38	9.4
14	在学生の確認やコミュニケーション	19	4.7
15	教育職員及び事務職員の確認や相談	13	3.2
16	学生相談・サポート体制の確認	11	2.7
17	その他	1	0.2
18	無回答	10	2.5

Q3 受験する場合、どの方式で受験されますか？（複数回答）

No.	回答	件数	(全体)%
1	推薦入試	170	42.1
2	B方式（本学独自）	162	40.1
3	検討中	155	38.4
4	A方式（センター前期）	103	25.5
5	C方式（センター後期）	28	6.9
6	無回答	5	1.2

Q4 オープンキャンパス全体の感想はいかがでしたか？

No.	回答	件数	(全体)%
1	とてもよかった	249	61.6
2	まあよかった	128	31.7
3	あまりよくなかった	2	0.5
4	まったくよくなかった	0	0.0
5	無回答	25	6.2
合計		404	100.0

Q5 オープンキャンパスに参加されて、京都薬科大学の印象や評価は変わりましたか？

No.	回答	件数	(全体)%
1	かなり受験意欲が高まった	160	39.6
2	少し受験意欲が高まった	189	46.8
3	変わらなかった	40	9.9
4	少し受験意欲が減退した	3	0.7
5	かなり受験意欲が減退した	0	0.0
6	無回答	12	3.0
合計		404	100.0

2011年度大学院薬学研究科薬科学専攻博士前期課程及び 2011年度薬学専攻博士後期課程（夏季募集）並びに 2010年度薬学専攻博士後期課程（秋季入学）の入学選考結果

2011年度薬学研究科薬科学専攻博士前期課程及び2011年度薬学専攻博士後期課程（夏季募集）並びに2010年度薬学専攻博士後期課程（秋季入学）の入学選考を8月25日（水）に実施し、8月31日（火）に合格発表を行いました。

薬科学専攻博士前期課程の志願者は2名で合格者は2名、博士後期課程（夏季募集）の志願者は5名、合格者は5名でした。博士後期課程（秋季入学）の志願者は1名で、合格者は1名でした。

○2011年度薬科学専攻博士前期課程の合格者数等（単位：人）

	一般	社会人
志願者数	1	1
受験者数	1	1
合格者数	1	1

○2011年度薬学専攻博士後期課程（夏季募集）の合格者数等（単位：人）

志願者数	5
受験者数	5
合格者数	5

○2010年度薬学専攻博士後期課程（秋季入学）の合格者数等（単位：人）

志願者数	1
受験者数	1
合格者数	1

「卒業生からのメッセージ」

何事も挑戦！ 常に前進！



岩井 隆也

微生物・感染制御学分野

1989年 学部卒業

1991年 修士課程修了

アステラス製薬株式会社

信頼性保証本部

育薬情報部 課長

在学生の皆さん。光陰矢のごとし。「今」を大切にされていますか？

私は早くも入社20年目になります。在学中はサイクリング部に所属し部長を務めさせて頂きました。学園行事では、京薬祭実行委員、学生自治会役員として様々なイベントに携わり、色々な体験をさせて頂きました。微生物学教室（現 微生物・感染制御学分野）では西野武志前学長（当時教授）及び後藤直正教授・副学長（当時助手）から厳しくご指導頂き、今の私があると言っても過言ではありません。在学中に様々な分野で、様々な角度から教わったことが私の考え方の基礎になっており、そういう意味で京都薬科大学には心から感謝しております。

1991年「（当時）山之内製薬株式会社」に入社し、研究所に配属され、その後2度の異動、及び会社

の合併を経て現在に至っています。入社以来、新規化合物の誕生から薬として世に出るまでの過程について、各部署にて貴重な経験をしました。新たな部署に移ると、まるで新人のように右も左も分からない環境に置かれ、非常に不安にもなります。しかし、この転機こそ、自分自身をさらにキャリアアップに繋げることができるビッグチャンスと考えています。

何事も決して現状に満足することなく、日頃から「なぜ？」と疑問を抱き、また自ら課題を見出し、それを解決及び改善するため考える訓練が重要だと思います。

また、自分の将来の目標に向かって、失敗を恐れず、果敢に挑戦して下さい。そして川の流れのように上流から下流に澱むことなく、一步一步前進することによって、新たな自分を発見し、自分自身に磨きをかけ、それによってさらに大きな人間に成長できると信じています。

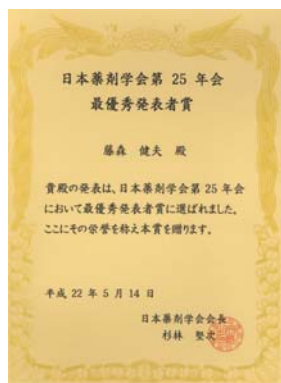
時間の限られた人生において、「自分が果たすべき役割とは何か？」「社会に貢献できることは何か？」をじっくり考え、周りに感謝の気持ちを忘れず、自主性を持って「何事も挑戦！」「常に前進！」こそ、有意義な人生を送ることができるのではないのでしょうか。

とにかく「今」を大切にして下さい。そして将来に向けて「今」何をすべきかを真剣に考えて行動してみして下さい。「今」考えていること、また考える訓練は将来きっと色々な面で役立つことでしょう。

受賞

日本薬剤学会第25年会の 最優秀発表者賞を受賞

2010年5月12～14日に徳島で開催された日本薬剤学会第25年会において、薬剤学分野、博士前期課程2年の藤森健夫さんが最優秀発表者賞を受賞しました。受賞の対象となった発表演題は、「骨粗鬆症治療薬 alendronate の消化管吸収性に及ぼす poly-amidoamine dendrimer の影響ならびにその吸収促進機構の解明」です。



薬品物理化学分野 受賞報告

- ・博士前期課程2年の内海達さんが日本ビタミン学会第62回大会（岩手）において学生優秀発表賞を受賞しました。
- ・濱進助教が第10回遺伝子・デリバリー研究会シンポジウム（札幌）において奨励賞を受賞しました。



濱助教の受賞式の様子

13th ICAD Travel Fellowship受賞

2010年7月10日～15日、米国ホノルルで開催された13th International Conference on Alzheimer's Disease (ICAD)において、病態生理学分野の高田和幸助教がTravel Fellowshipを受賞しました（推薦者：同分野 谷口隆之教授）。この学会において、アルツハイマー病で引き起こされる既知の脳病変がクロスリンクした結果、これまで知られていなかった新たな神経障害性の病理学的変化を誘導することを発見し、その内容を口述発表しました。

相馬洋平助教（薬品化学分野）の 共同研究が Angewandte Chemie International Edition誌 の表紙にハイライトされる

薬品化学分野の相馬洋平助教とシカゴ大学のStephen B. H. Kent教授の共同研究がAngewandte Chemie International Edition誌7月号 (Issue 32) の表紙としてハイライトされました。

本論文 [Angew. Chem. Int. Ed. 49, 5489–5493 (2010).] では、プロインスリンを模倣した「エステルインスリン」（インスリンB鎖30位スレオニンとA鎖4位グルタミン酸の側鎖間をエステル結合で連結）において、フォールディングおよびジスルフィド形成反応が効率良く進行することを発見しました。さらにエステルインスリンは、鹼化反応により定量的にヒトインスリンへと化学変換しました。インスリンは、1921年の発見以来、糖尿病の特効薬として多くの患者を救ってきました。1960年代にはインスリンの化学全合成も達成されました。しかしながら、その化学合成においてはA鎖-B鎖間のジスルフィド形成反応収率の低さが未だに問題となっております。今回の成果は、本問題を克服し、新しいインスリン誘導体を効率的に創製できる可能性があるため、創薬化学的に意義深い成果であると考えられます。



国際薬理学会～世界一幸せな国で～

薬物治療学分野 阿部尚子(M2)、出原千歳(M2)

2010年7月18日より6日間にわたり行われた国際薬理学会(International union basic and clinical pharmacology:IUPharm)に参加するため、竹内孝治教授、佐藤宏客員教授とともに、デンマーク、コペンハーゲンへ向かいました。11時間のフライト後、飛行機はオランダ、アムステルダムを経由し、世界一幸せな国と称されるデンマークに到着しました。コペンハーゲンは、「人魚姫」や「みにくいあひるのこ」など数々の名作を生み出したハンス・クリスチャン・アンデルセンの生誕の地です。また、デンマーク語で「商人の港」を意味するコペンハーゲンは多くの運河をもつ商業上の重要な拠点として発展した町でもあります。

この学会は、今までに参加してきた国内の数々の学会とは規模が異なり、薬理学を専門とする著名な先生方が多く参加されていました。私たちの演題はポスター発表として6題ありました。その事前準備としてのポスターの作成や発表内容についての説明や質問対策などに苦労しましたが、自身の研究内容について深く掘り下げて考える機会になり、また、実験内容を英文化することで、語学力の向上にもつながりました。

Gastrointestinal pharmacologyのシンポジウムにおいて、竹内教授、佐藤客員教授が口頭で発表されました。また、このシンポジウムでは、私たちの研究分野である消化管についての著名な先生方による口頭発表やディスカッションが行われました。発表やディスカッションはすべて英語で行われたため、ただ聞いているだけでは完全には把握できず、グラフなどの示されたデータを見ることで、なんとか理解することができました。また、先生方による白熱したディスカッションを聞くことで研究者としての姿勢や考え方を学ぶことができました。また発表の中には、自身の研究に活かせるような実験方法や結果もあり研究に対する意欲が高まりました。

ポスター発表では、世界各国から分野を問わず多くの研究者が集まり自身の研究内容をポスター形式で発表を行いました。私たちは、他の方々のポスターを見ることで、ポスターの内容はもちろん、ポスターの構成についても学ぶことがたくさんありました。また、同じ消化器領域のポスターの中にも、私たちの研究室で取り上げているテーマとは異なる角度からのものも多くあり、興味深く見ることができました。私たちのポスターの内容について質問を受けた際に、うまく言葉が見つからず、身振り手振りを交えて答えることも多く、語学力の乏しさを痛感し、さらに、コミュニケーションの重要性についても実感しました。

学会前日に、コペンハーゲンの街並みを散策しました。コペンハーゲンは第二次世界大戦の折、ナチス・ドイツに形の上で降伏し、街を戦火から救ったため、今でもモダンな近代建築との絶妙なバランスをとった街並みを保っており、おとぎの国の首都にふさわしい街だと感じました。また、運河をもつ港町ということもあり、運河ツアーに参加しました。運河に行くボートの上からは、人魚の像(上海万博に出展されていたため、その日は見るできませんでした)、クリスチャンハウスなどを眺めることができました。周囲の建物との調和が義務づけられているコペンハーゲンでは、市庁舎の塔(105.6m)より高い建物を建ててはならないという市の条例があります。そのため、高さ34.8mのラウンド・タワーから、コペンハーゲンの旧市街を見下ろすことができました。眼下にはルネッサンス様式の赤レンガの建物がモザイク状に広がり、また、城や教会の尖塔が点在していました。コペンハーゲン発祥の地であるクリスチャンボー城にも足を運びました。かつては王宮として使用されていましたが、現在では国会議事堂や女王の謁見の間として利用されています。コペンハーゲンは建築物の撤去が容易に許可されないため、クリスチャンボー城も修復中で、残念ながら中には入ることができませんでしたが、デンマーク人の歴史を重んじる姿勢に触れることができました。

今回の学会発表を通じて、異なる文化や歴史に触れることができ、研究に情熱を持って取り組む姿勢やコミュニケーションの大切さを改めて学ぶことができました。

最後になりましたが、今回の学会発表のような貴重な機会を与えてくださいました竹内教授、また学会の参加にご配慮くださいました理事長、学長をはじめ、大学関係者の方々に深く感謝いたします。



ポスター発表中の
著者
(左:阿部、右:出原)

学会場前にて

開館日程

2010年 10月

2010年 11月

2010年 12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

 休館日

 休館日〔館内整理〕

 10:00-17:00

 9:00-17:00

 9:00-20:00

休館日の変更や臨時の閉館がありますので、図書館の掲示、ホームページで確かめてください。

2010年度前期学生用図書

授業担当教員から推薦された前期学生用図書、36点が購入されました。どうぞご利用ください。

有機化学演習(京都廣川"パザパ"薬学演習シリーズ; 4)	上西潤一, 和田昭盛
日本人の食事摂取基準	第一出版編集部
栄養学原論	渡邊昌
新しい食物学: 食生活と健康を考える 改訂第2版	加藤陽治, 長沼誠子
衛生試験法・注解	日本薬学会
幹細胞の分化誘導と応用: ES細胞・iPS細胞・体性幹細胞研究最前線	ブッカーズ企画
ジョスリン糖尿病学 第2版	C. Ronald Kahn [ほか]
よくわかる分子生物学・細胞生物学実験	佐々木博己[ほか]
Disease: 人類を襲った30の病魔	Mary Dobson
製剤化のサイエンス: 基礎とCMC	永井恒司, 園部尚
がん患者の栄養管理: がん化学療法チームハンドブック	大村健二
処方せん鑑査疑義照会実践トレーニング(Rp.; 第8巻2009年9月)	澤田康文
薬局TDM(薬剤師の強化書)	八重徹司, 玉川知鮎
脳はなぜ「心」を作ったのか: 「私」の謎を解く受動意識仮説	前野隆司
脳と魂	養老孟司, 玄侑宗久

ほか、全36点

お 知 ら せ

2010年度 学位記授与式（前期）及び
2010年度大学院博士後期課程秋季入学式

9月30日（木）午後3時30分から愛学館7階の第1会議室において、2010年度 学位記授与式（前期）が執り行なわれ、乾学長から、課程博士1名、論文博士3名に学位記（博士（薬学））が授与されました。

また、学位記授与式に先立ち、本年度後期より博士後期課程の学生を迎えることとなり、同日3時より秋季入学式を執り行いました。

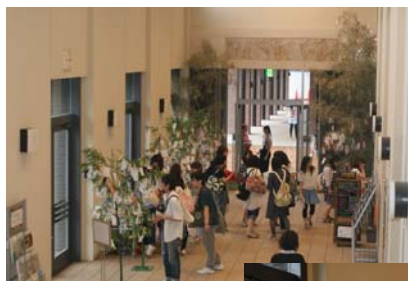
第4回 自治会広報部主催七夕企画

6月中旬から7月7日の七夕当日にかけて、自治会広報部フリーペーパー制作委員会主催・第4回七夕企画を実施致しました。愛学館入り口poppy前に笹と短冊を設置し、愛学館を訪れた方々に願い事を書いた短冊を飾ってもらうという七夕ならではの企画です。

学生課にご協力いただき、今年は4メートル近い本物の笹も2本設置することができたため、昨年よりも更に賑やかとなりました。京薬の皆さんに少しでも七夕の雰囲気を実感していただければ幸いです。開催期間中、短冊に書かれた願い事を見て、共感したり微笑ましい気持ちになったりと私達広報部も企画を楽しむことができました。

昨年は総計992枚の短冊が飾られ、今年も同数の短冊を用意しましたが、七夕当日にはそのうちほとんどがなくなっていました。七夕企画に参加して下さった皆様に、広報部一同心よりお礼を申し上げます。

自治会広報部フリーペーパー制作委員会では7月の七夕企画の他、12月のクリスマス企画、年4回のフリーペーパー発行などの活動を行っています。今後も京薬の皆さんが豊かな学生生活を送る一助になれば幸いです。



京薬会だより

<平成22年度卒業教育講座>

京薬会主催の卒業教育講座は、躬行館大講義室で400名の受講者を対象に5月9日、6月6日、7月11日、9月5日の4日間（12コマの講座）開講されました（卒業教育A）。また、同講座のインターネット配信講座（卒業教育B）は9月～11月まで開講しています。詳細は、京薬会HP(<http://www.kpu-aa.com/>)をご参照ください。なお、本学大学院生希望者には無料で受講していただいています。

<平成22年度京薬会支部総会>

5月22日（土）に京薬会代議員総会が開催され、これに引き続き支部総会が各地で開催されています。滋賀支部、福井支部、岐阜支部、北海道支部、和歌山支部、鳥取支部などがすでに開催され、その後に徳島（10/17）、京都（10/23）、鹿児島（11/3）、宮崎（11/6）、香川（11/7）、岡山（11/14）、奈良（11/21）、大分（11/21）、愛知（12/5）の各支部総会開催が予定されています。京都薬科大学よりご来賓をお招きして各地で大学と地域との交流を深めております。

<京薬祭とホームカミングデー>

本年度の京薬祭は10月29日～31日に開催されますが、この期間中に、初めての試みである京薬会主催のホームカミングデーを企画しております。卒業生の大学への里帰り、若き日の思い出を語り合い、新しい大学を見学し、懐かしい先生や友人、さらには若い現役学生との交流のできるホームカミングデーとしたいと思います。多数の皆様のご来場・ご参加を期待しております。

<大学・学生支援>

今年度7月に学生の就学支援に寄与するため、京薬会より京都薬科大学奨学金に対して、京都薬科大学奨学金基金100万円、授業料減免型奨学金・給付型奨学金資金100万円を寄付しました。

<京薬会グッズ>

学生や卒業生より、京薬キャンパスのグッズ要望が多く寄せられ、これにお応えするため京薬会で、「京薬グッズ」を作成しました。品目としてボールペン、キャリングケース、クリアホルダー、マウスパッド、ポストイット、マグカップ、ラッピングペーパーの7品目に、新しくスポーツタオルが追加されました。本学の購買部（ポピー）で頒布しておりますので、是非一度手にとってご覧ください。

京都薬科大学奨学寄附金ご芳名録

下記の方々から寄附をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。

* 高額のご寄附（10万円以上）を頂いた方は、京都薬科大学奨学金規則及び学生便覧に掲載させていただきます。

* 敬称略、ご芳名のみ掲載しております。

2010年に寄附をお寄せいただいた方々

＜卒業生・同期会等（卒業年次順）＞

久保 巖(昭14)	片岡 勲(昭32)	渋谷 禎彦(昭35)	山口 博行(昭42)	辻尾 邦恵(昭55)
石黒 道彦(昭19)	加野 弘道(昭32)	梅谷 俊子(昭36)	久米 和子(昭43)	東浦 純子(昭55)
長谷川匡仁(昭19)	鎌田 潤子(昭32)	小林 早苗(昭36)	古本 靖弘(昭43)	平野 隆(昭55)
木野 雅男(昭20)	木村賀代子(昭32)	新谷 昭法(昭36)	古本 良子(昭43)	神川 邦久(昭56)
久保田桃三(昭24)	小林 晋(昭32)	林 智香子(昭36)	村岡 孝子(昭43)	竹田奈保美(昭56)
小財 勲(昭24)	佐野 光市(昭32)	平原 靖子(昭36)	渡辺 温(昭43)	森田 祐子(昭56)
佐山 福繁(昭24)	嶋田 博(昭32)	吉光 博恵(昭36)	青山 昭策(昭44)	吉村 聡子(昭56)
田代 益子(昭27)	清水 政信(昭32)	西尾 英明(昭37)	池阪喜代子(昭44)	有田 昌純(昭58)
岩城 宗吉(昭28)	瀧野 雅子(昭32)	林 晴雄(昭37)	林 恵子(昭44)	市川 克己(昭59)
宇本 芳樹(昭28)	田中 昌巳(昭32)	本岡美智子(昭37)	稲垣 美幸(昭45)	猪奥真理子(昭60)
豊田 博文(昭28)	得丸 茂年(昭32)	池崎 宗克(昭38)	辻 孝範(昭45)	上荷 裕広(昭60)
牧 敬文(昭28)	内藤 裕義(昭32)	山下 慶子(昭38)	廣安 勉(昭45)	抱 隆史(昭61)
安藤 寛治(昭29)	中野 淳子(昭32)	吉富堅一郎(昭38)	安藤 謙治(昭46)	山口 昌史(昭61)
後藤 和之(昭29)	服部 健三(昭32)	浅井 俊義(昭39)	米満 弘夫(昭47)	福山由希子(昭62)
滝野 哲(昭29)	林 規子(昭32)	仮家 公夫(昭39)	今井久美子(昭48)	東 富雄(昭63)
三浦 一子(昭29)	平地美紗子(昭32)	六車 昭美(昭39)	辻 美稚子(昭48)	藤原 篤子(昭63)
山本 幸彦(昭30)	広畑美代子(昭32)	加納 亜子(昭40)	佐藤 嘉純(昭49)	江藤 裕子(平04)
岡本 秀雄(昭31)	藤井 信夫(昭32)	神田橋紘子(昭40)	安武 廣(昭49)	深津 紀子(平06)
千歳 嘉子(昭31)	森田 政子(昭32)	野口 隆志(昭40)	中嶋 澄江(昭50)	山下 和紀(平08)
得居 怜子(昭31)	森脇 茂子(昭32)	野口 紘子(昭40)	永田あさ子(昭50)	屋木 祐亮(平21)
山本 珠子(昭31)	山本 穎(昭32)	久山 弥栄(昭40)	猪奥 耕一(昭52)	京薬五五会(昭32)
池田 正義(昭32)	山本 準子(昭32)	前田トシ子(昭40)	北尾 善信(昭52)	京薬会
池田 正明(昭32)	若松 道雄(昭32)	斎藤 安正(昭41)	島 知子(昭52)	塩野義製薬株式会社
浮田 和也(昭32)	渡部 一榮(昭32)	杉浦 純子(昭41)	三上 正(昭52)	京薬会 有志一同
大谷 市郎(昭32)	柴田 浩子(昭33)	七海 朗(昭41)	森 一二美(昭52)	微生会2010
大西 恭輔(昭32)	木村 恵一(昭34)	七海 禮子(昭41)	服部 恵子(昭53)	
尾崎 将文(昭32)	森田 康子(昭34)	藤田 成孝(昭41)	新井 理恵(昭55)	
尾崎美代子(昭32)	柳田紀美枝(昭34)	谷口 睦子(昭42)	岡 幸一(昭55)	
小田 雅岐(昭32)	湯浅 忠男(昭34)	平越 孝平(昭42)	杉野 裕子(昭55)	

＜企業・団体・一般＞

阿倍 幸子 愛知株式会社京都営業所 近電商事株式会社 和研薬株式会社 匿名希望1社

＜法人役員・評議員・職員（五十音順）＞

蘆田 康子(理事)	北村 享子(助 教)	佐原 和美(係 長)	長澤 一樹(教 授)	森田 和子(評議員)
乾 賢一(学 長)	久米 光(評議員)	白木太一郎(評議員)	長澤 吉則(准教授)	安田 江里(助 教)
入江 一充(監 事)	小里 芳頭(課 長)	高野 江里(課 長)	浜崎 博(教 授)	山口 泰秀(評議員)
上西 潤一(教 授)	後藤 直正(教 授)	高山 明(教 授)	松井 常孝(評議員)	山下 豊彦(課 長)
小関 稔(助 教)	近藤 伸子(課長補佐)	武田 禮二(理 事)	宮秋 昭(理 事)	吉川 雅之(教 授)
加納 良章(主 事)	坂口由美子(主 事)	田村 正昭(理事長)	宮本 茂敏(理 事)	
菊本 均(評議員)	坂根 稔康(准教授)	辻本 雅之(講 師)	宮本 孝(課 長)	
北出 達也(教 授)	佐々木善文(主 幹)	土田 花美(係 長)	村山猪一郎(監 事)	

＜元教授（五十音順）＞

金澤 治男 佐藤 隆司 西野 武志 舟崎 紀昭

(2010年8月31日現在)